
編集後記

2024 年の TV アニメに「チ。―地球の運動について―」がある。「天動説」が正しいとされていた中世ヨーロッパで、“異端”と呼ばれ、迫害されながら「地動説」を説いた人達のお話である。

拷問され、挙句の果てに火炙りにされてまで、彼らが「地動説」を探求し続けたのは何故なんだろう。

現代の日本には、出身大学によって人生が決まると考えている人が少なからず存在する。大学に進学するためには試験を受けて合格する必要がある。そのため教育機関の一部は有名大学への進学者数の多さをセールスポイントにするところもあり、そのような教育機関では、入学試験に合格することが教育の目的となっている。

試験には当然正解がある。したがって試験に合格するためには、教えられることは全て正しいと刷り込まれていく。

現在、我々がこのような環境で受けてきた近代医学教育と中世ヨーロッパでの「天動説」の教育は、同類ではないと断言できるだろうか。

中世ヨーロッパの大多数が「天動説」が真実であると盲信させられたように、近代医学こそが正しいと妄信させられていないだろうか。

“宇宙”も“生命”も未知の世界である。

正解とされるものに疑問を持ち、彼らが真剣に天体を観察したように、我々は真剣に患者を観察し、自らが“生命”の真理を開く必要がある。

現代は、近代医学に異を唱えたとて命まで取られることはない。

「地動説」を唱えた人達ほどの覚悟がなくても可能なはずである。

日本東洋医学研究會はこれからも“異端”を応援し続けたいと思う。

令和 6 年 12 月吉日

日本東洋医学研究會会長 松本 和久

日本東洋医学研究會誌 第十卷 2024

編集・発行	日本東洋医学研究會誌 編集委員会
発行日	令和 6 年 12 月 25 日
発行者	日本東洋医学研究會
